

## 努力

毎日毎日

同じ生活をしている

自分の仕事にとつかれている

うまくゆく時も

うまくゆかぬ時もある

運のいい時も

わるい時もある

うまい話はあるわけではない

私は

こつこつと自分の仕事をしている

その内に自分の努力は

見えない内に段々ものになる

沈黙の一年の努力

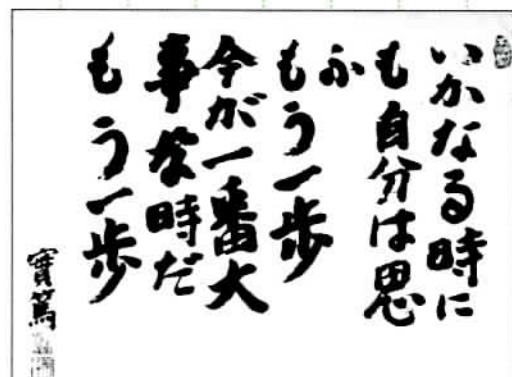
三年の努力 五年 十年

二十年 三十年の努力

誰にも見えない努力

だがその努力こそ

自分を段々ものにするのだ



「もう一歩」 昭和25～30年

## 疲れたら

疲れたら休み

元気になったら又働く

春の日



「人生の旅人」 昭和47年

どんなことでも、すぐにできるようにはなれません。

実篤は小学生の時、作文と絵と習字が苦手でした。そんな実篤が作家で画家になったのですから、ずつこつこつこつ努力してきたのでしょうか。「努力」は79歳の時の詩。実感がこもっていますね。

夢や目標に向かって、旅のように長い道のりを進んで行くには、がんばりすぎないで、疲れたら無理せず休むことも大切。そうして、力を蓄えましょう。大事なときにがんばれるように。

◆夏が来た

(『雑三百六十五』より 大正9年7月 廣野社刊)

◆身体中が

(『改造』大正9年4月号より)

◆努力

(『武者小路実篤詩集』より 昭和39年4月 大和書房刊)

◆疲れたら

(『改造』大正9年4月号より)

# もっと知りたい

## 武者小路実篤

### 詩2 がんばって!

武者小路実篤は、元気なときも詩を書きましたが、自分が元気になることも、やっぱり詩を書きました。

そんな実篤の詩は、私たちの肩をポンとたたいてくれる、応援歌のようです。

実篤の詩で、あなたも元気を出して、がんばってみませんか。

#### 夏が来た

夏が来た

元気だせ

元気だせ

草や、

植物の

元気なことはどうだ

夏は

元気の親玉だ

生命の王様だ

負けてはいられない。

元気だせ

元気だせ。



この道 昭和42年

#### 身体中が

身体中が元気で一ぱいだ。

俺の思ったことは何でも出来る。

そんな気がする。



実篤はよく子供や孫に「元気が。いばってるか。」と声をかけたそうです。「いばってるか」は、「いじけていないか」という意味です。

しよんほりしていると、何にもできないような気がしてしまいませんか。

太陽を浴びてぐんぐん育つ自然の生命力を見習って、まず元気を出しましょう。

元気が出たら、やりたいことがいっぱいありますよ。